

令和6年度 日本大学危機管理学部 個人研究費 研究実績報告書

所属：危機管理学部 危機管理学科

資格：教授

氏名：古谷 洋一

研究課題名	警察官権限法制の日韓台3法域における発展過程の比較研究
研究目的及び 研究概要	社会的・文化的に共通点が多く、法体系も類似する日本・韓国・台湾のうち、後二者の法域のみにおいて人権保障手続を含む警察官権限法制の整備が着実に進んでいる要因を解明するとともに、両法域における法実践を我が国にとっての一種の社会実験の場ととらえて、これら近似法の法実践における課題や問題点を踏まえつつ、今後の我が国の治安課題や治安行政の在り方に適合した警察官権限法制整備のための具体的な条件及びモデルを考察・提示し、自由で安全・安心な社会の実現に貢献する。 本研究は、主に文献調査の方法により行うこととし（韓国については現地での調査を含む。）、韓国・台湾両法域の警察官権限法の制定・改正に係る文献・資料を収集して韓国法、台湾法の順に整理分析作業を進め、令和6年度までに同作業を終えて、韓国法からの示唆に関しては同年度中、台湾法からの示唆に関しては令和7年度中に論文化する。
研究実績の概要 研究の進捗状況・得られた成果・今後の課題・研究実績等	令和6年度においては、前年度までに行った韓国の警察官権限法制に関する整理分析の内容をとりまとめ、我が国への応用の可能性等について検討する論文「警察官職務執行法の見直しに関する小考—韓国法からの示唆点—」を作成し、『警察政策』第27巻に掲載された。 令和7年度においては、台湾の警察官権限法制に焦点を絞り、一昨年警察職権行使法施行20周年を契機とする回顧・見直しの議論を踏まえつつ、台湾における法整備の特徴や課題及び我が国への示唆点をとりまとめ、論文化に着手する予定である。